

# わたしの歩んだ道

あゆみち  
山崎聡子さん

## 〈プロフィール〉

東海ラジオ放送で、17年間アナウンサーとしてさまざまな番組を担当。現在は同社の制作部ディレクターとして多くの番組を制作中。市内在住。2児の母。



**人前に出るのが苦手だった少女時代**  
小学生のころは、恥ずかしがり屋で、家族の前で歌うことすら嫌で泣いてしまっただけでした。声が低いのがコンプレックスで、まさかアナウンサーになるとは思ってもいませんでした。

## アイドルに会うために

当時の人気アイドルに会いたくて、最初は自分もアイドルになりたいと思いましたが、中学卒業時には、アイド



ルの周りで活躍するアナウンサーに興味湧き、目指すようになりまし

しかし、アナウンサーになるためには何をしたらよいか分からず、海外への旅やアルバイトなど手当たり次第に挑戦しました。

## ラジオの魅力

テレビやラジオ局への就職活動を行った結果、念願のアナウンサーとして入社が決まりました。最初は、ラジオを聞いているたくさんの人を想像して話すことが難しく、怒られてばかりの毎日でした。

しかし、多くの番組を経験し、また、さまざまな人生経験を積むことで、アナウンサーとして伝えることの面白さ

を知ることができました。

ラジオはテレビよりも人との距離が近く、つながっているような感じがするのが魅力です。生放送で「ハンドソープを持っていない」という話をしたところ、ラジオを聞いていた人が、2人もラジオ局までハンドソープを持ってきてくれたこともありまし

## 視点が変わり

昨年の11月に、ディレクターへと仕事が変わりました。

ディレクターの仕事は本番前の取材から編集、進行など多岐にわたります。今まで全て準備された状態で、アナウンサーをしていたことに気づきました。忙しくはなりませんが、今まで

と視点が大きく変わり、今後に生かせる時が来ると思っています。

## 新たな番組作り

現在、2人の子どもがいますので、子育てなどの経験を生かして、母親としての視点を加えた新たな番組作りができたかと考えています。

また、いろいろな立場の人に合わせた働き方ができるような職場づくりを目指していきたいとも考えています。それが、きっとこれまでになく多様な番組作りにつながっていくと思

## 夢をかなえるために

興味のあることに、どんどん挑戦してみてください。また、やりたくないけれど、やらなくてはならないことがあるかもしれませんが、すぐに投げ出さないでください。人生で無駄なことは何も無く、いつか思いがけないところで、きっと役に立つはずで